

# 公立野辺地病院

「令和7年度収支状況及び  
令和8年度予算の概要」

# ■令和7年度の収支状況

## □令和8年度予算の概要

# 令和7年度の収支状況

## 1. 総収支(見込み)

(単位:千円)

区 分	上半期合計	下半期合計	年間合計(税込み)	年間合計(税抜き)
1 病院事業収益	1,435,291	1,553,282	2,988,573	2,977,063
※医業収入	1,050,828	1,226,681	2,277,509	
(1) 医業収益	1,182,711	1,296,506	2,479,217	
入院収益	664,522	780,574	1,445,096	
外来収益	313,983	344,001	657,984	
その他医業収益	204,206	171,931	376,137	
(2) 医業外収益	234,753	226,792	461,545	
他会計補助金・負担金	155,346	102,625	257,971	
補助金	0	40,204	40,204	
その他	79,407	83,963	163,370	
(3) 訪問看護ステーション収益	9,526	17,708	27,234	
(4) 居宅介護支援事業収益	8,301	12,275	20,576	
(5) 特別利益	0	1	1	
2 病院事業費用	1,291,222	1,775,877	3,067,099	3,067,099
(1) 医業費用	1,265,733	1,698,672	2,964,405	
(2) 医業外費用	2,558	47,600	50,158	
(3) 訪問看護ステーション費用	9,873	16,404	26,277	
(4) 居宅介護支援事業費用	8,858	13,201	22,059	
(5) 特別損失	4,200	0	4,200	
損 益	144,069	△ 222,595	△ 78,526	△ 90,036



※令和8年2月以降は見込み

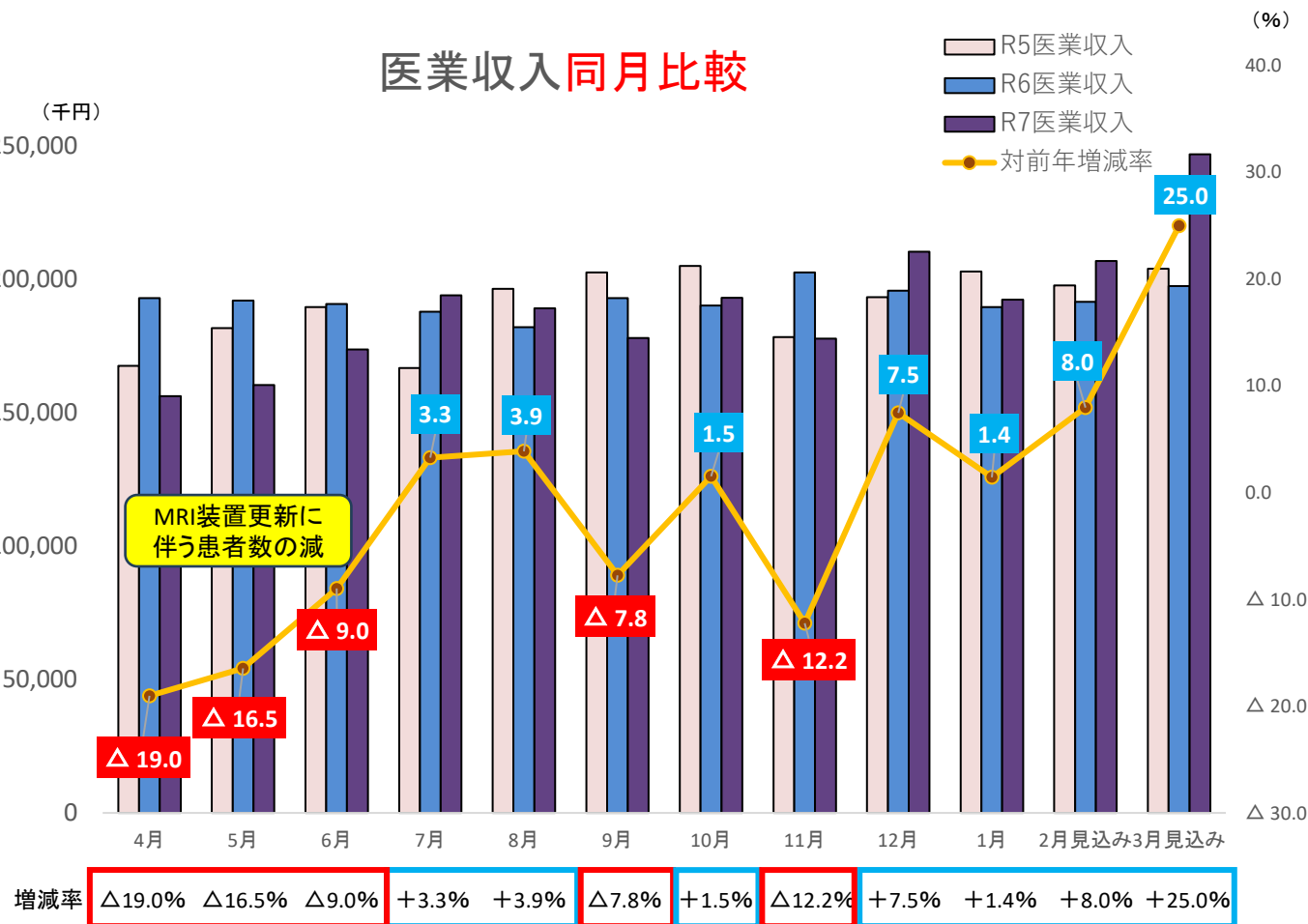
参考

令和2年度純利益 約1.27億円    令和3年度純利益 約1.70億円    令和4年度純利益 約620千円  
 令和5年度純利益 約0.59億円    令和6年度純損失 約0.34億円

# 令和7年度の収支状況

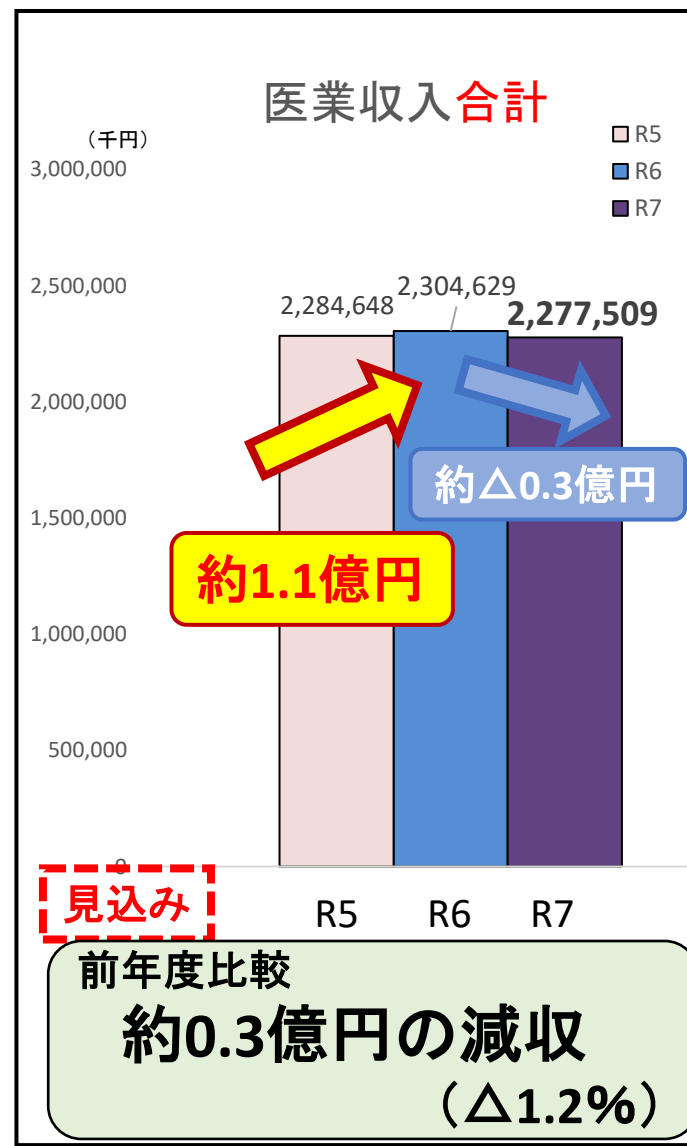
## 2. 医業収入(見込み)

### 医業収入同月比較



4月から5月にかけてMRI装置の更新事業があり、患者数が減少したことにより収入が減少

### 医業収入合計

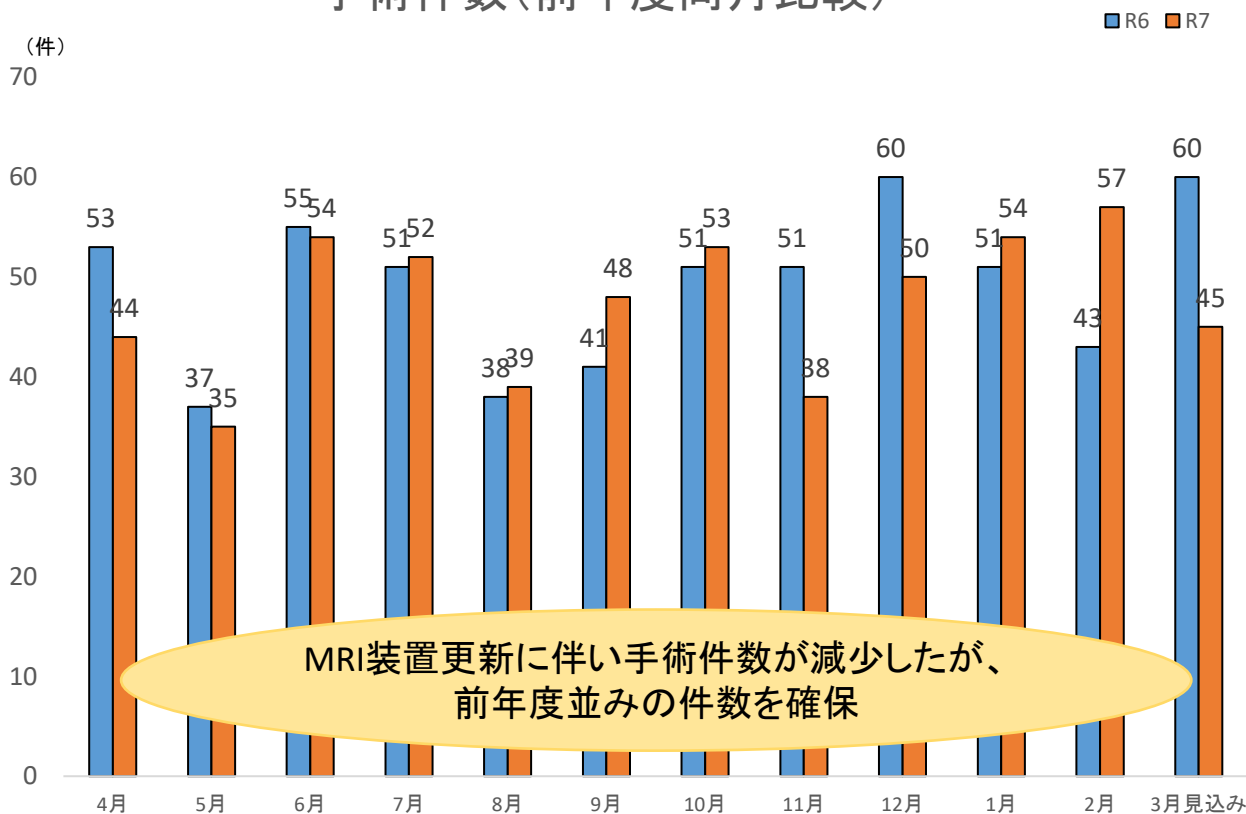


# 令和7年度の収支状況

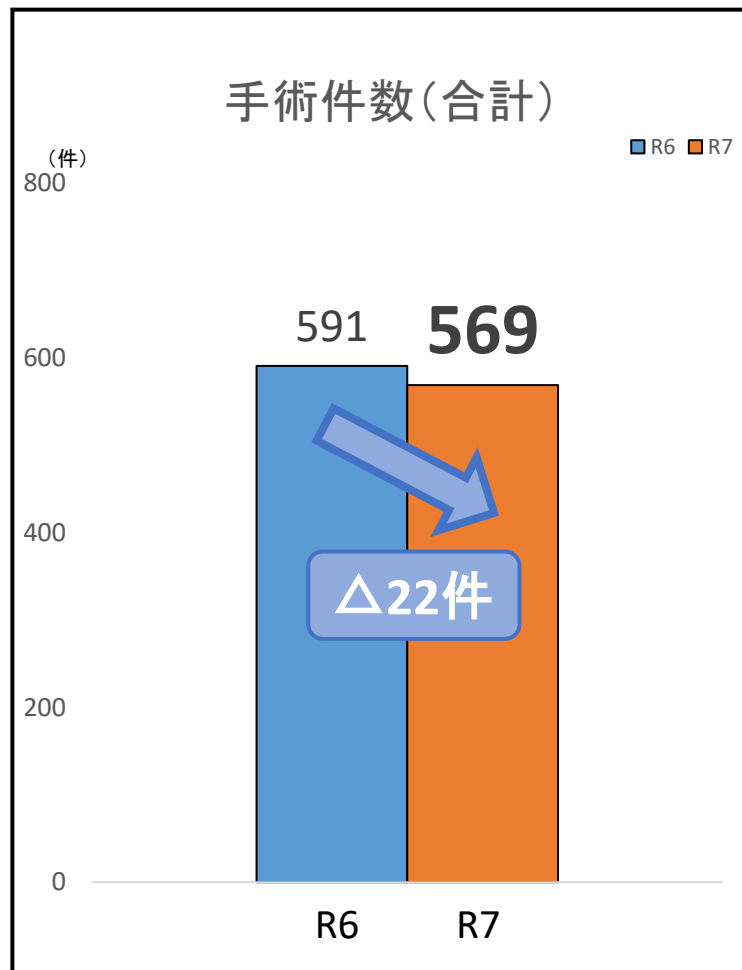
## 3. 医業収入の内訳

### (1) 手術件数(見込み)

手術件数(前年度同月比較)



手術件数(合計)



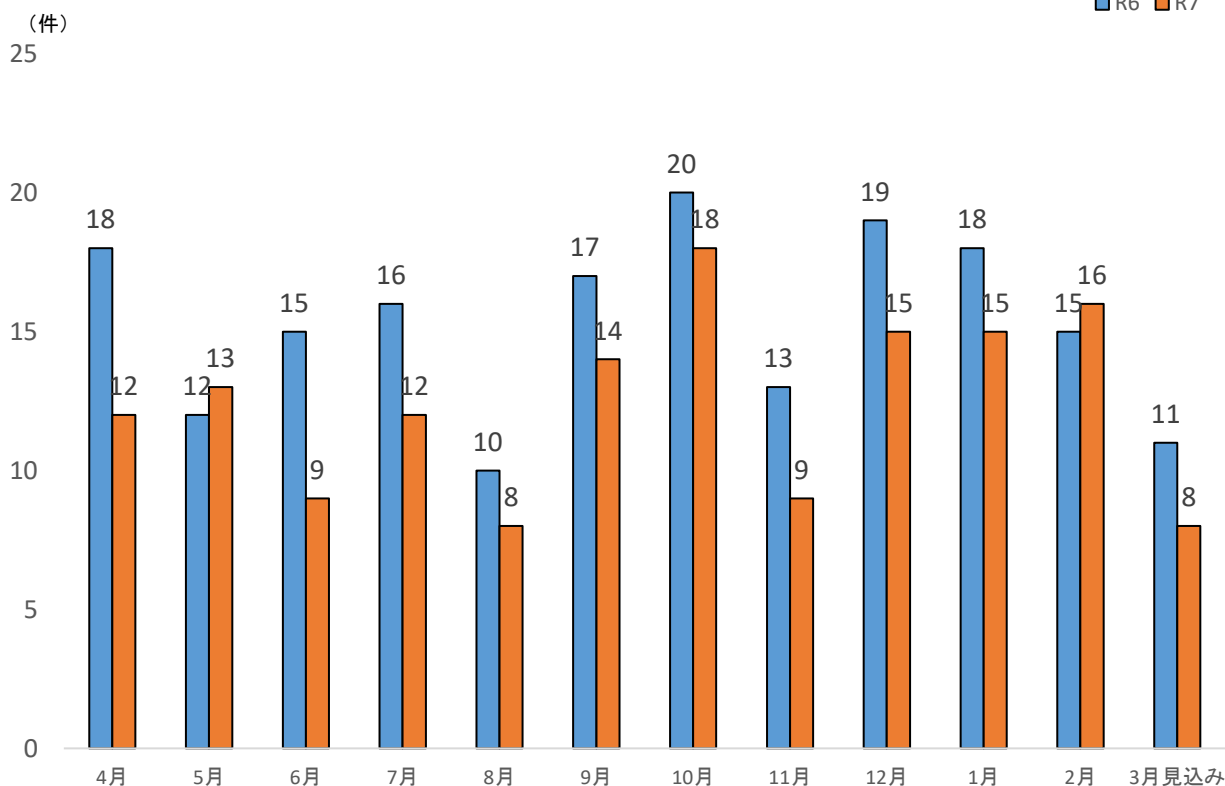
前年度比較約20件の減(△3.7%)

# 令和7年度の収支状況

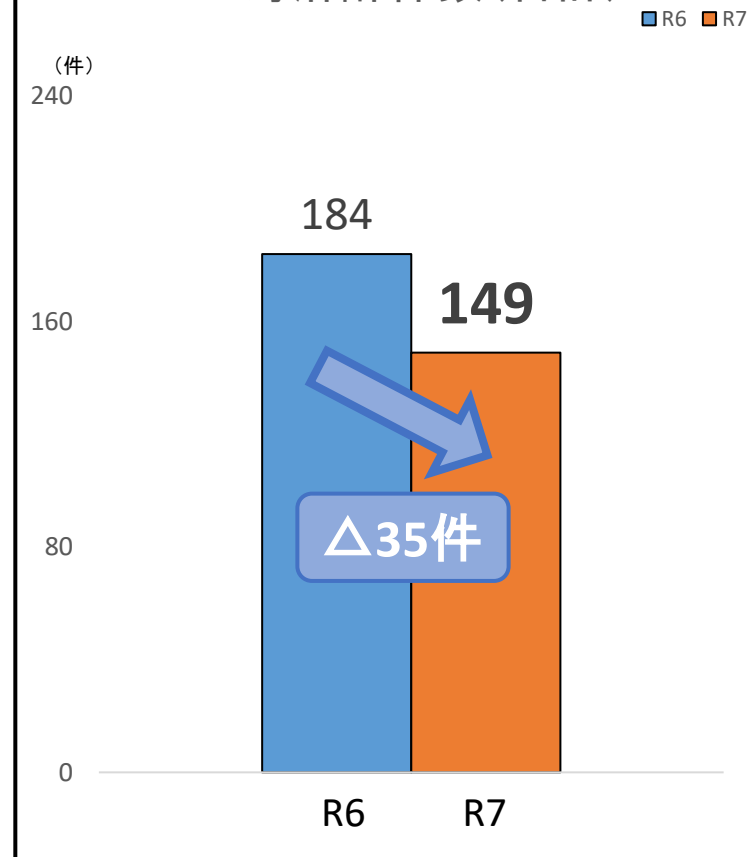
## 3. 医業収入の内訳

### (2) 全身麻酔件数(見込み)

全身麻酔件数(前年度同月比較)



全身麻酔件数(合計)



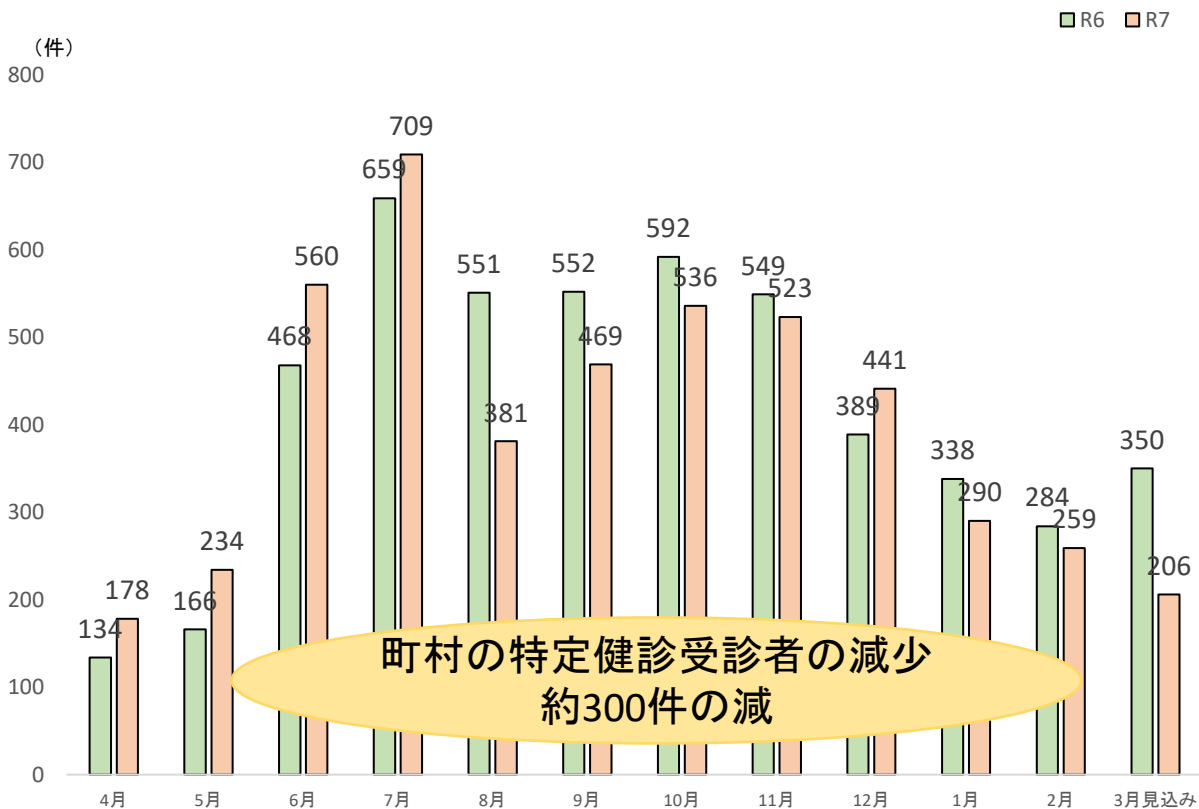
前年度比較約40件の減(△19.0%)

# 令和7年度の収支状況

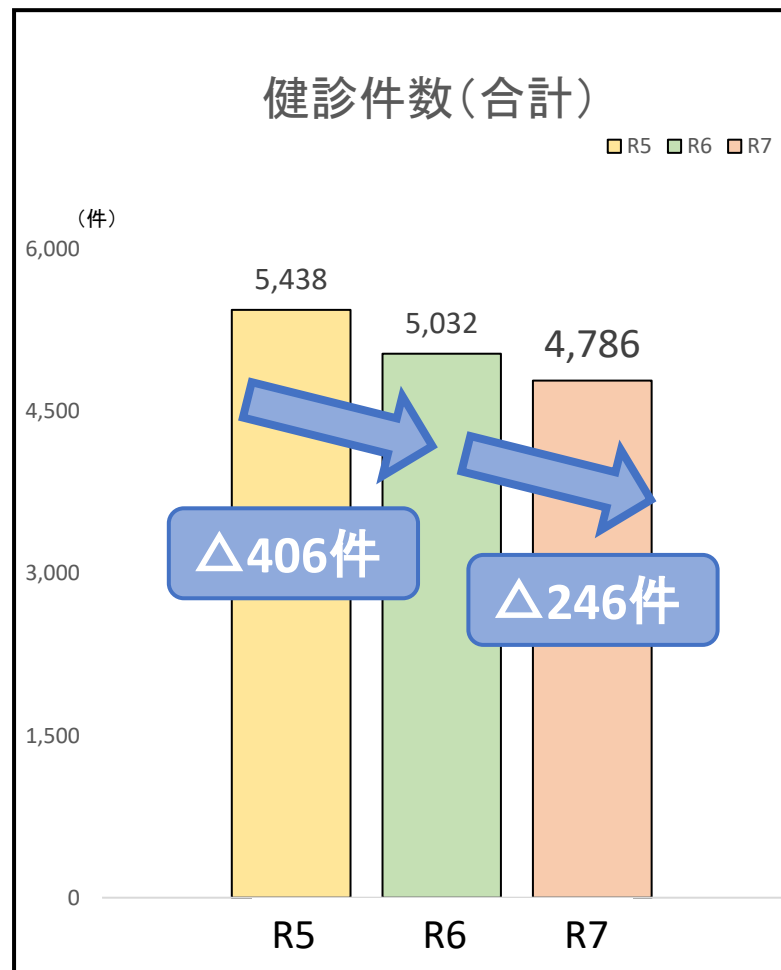
## 3. 医業収入の内訳

### (3) 健康診断件数(延べ件数)(見込み)

健診件数(前年度同月比較)



健診件数(合計)



前年度比較 **約250件の減** (△4.9%)

# 令和7年度の収支状況

## 4. 資金不足額の解消

(単位:千円、%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
流動資産 ①	570,171	495,947	567,343	565,171	663,446	558,064	475,415
流動負債 ②	1,017,070	690,867	489,218	384,868	414,990	299,951	325,926
企業債 ③	146,219	132,005	104,793	28,670	51,153	62,442	132,466
資金不足額 ④=②-①-③	300,680	62,915	0	0	0	0	0
地財法による 資金不足比率	13.9	2.6	0	0	0	0	0
健全化法による 資金不足比率	4.3	0	0	0	0	0	0

- ・令和2年度 **健全化法**による資金不足の**解消**
- ・令和3年度 **資金不足額の解消**
- ・令和4年度、令和5年度、令和6年度 **資金不足額なし**
- ・令和7年度 **資金不足額なし** (見込み)

# 令和7年度の収支状況

## 5. 構成町村負担金等内訳

項 目		R7当初	R7補正後	比較	主 な 増 減 理 由
1 病院事業		567,800	567,800	0	
1 病院事業収益的収入		508,426	507,506	△ 920	
医業負担金	① 救急医療運営費	249,518	249,518	0	
	② 保健衛生行政事務経費	198,881	198,881	0	
医業外補助金		50,637	50,637	0	
	③ 研究研修費	113,548	103,569	△ 9,979	
	④ 基礎年金に係る公的負担	4,529	3,151	△ 1,378	決算見込みによる減
	⑤ 追加費用	46,833	47,291	458	標準報酬月額減、負担率の増 R7当初 39.6% → R7実績 41.5%
	⑥ 児童手当	9,790	8,504	△ 1,286	追加費用率の減 R7当初 11.1% → R7実績10.1%
	⑦ 医師確保対策	19,493	11,720	△ 7,773	決算見込みによる減
医業外負担金		32,903	32,903	0	
	⑧ 企業債利子償還	145,360	154,419	9,059	
	⑨ へき地巡回診療負担金	1,315	2,566	1,251	R6企業債利率確定による増
	⑩ 高度特殊医療運営費	404	404	0	
	⑪ 不採算地区中核病院運営経費	6,531	6,531	0	
		137,110	144,918	7,808	給与改正増加分に伴う増(会計年度任用職員共済組合負担金等)
2 病院事業資本的収入		59,374	60,294	920	
出 資 金	⑫ 建設改良費				
	⑬ 企業債元金償還	23,041	23,041	0	
	⑭ 医師等修学資金貸付金	32,733	32,733	0	
		3,600	4,520	920	新規貸与者:診療放射線技師1名による増
合 計		567,800	567,800	0	

□令和7年度の収支状況

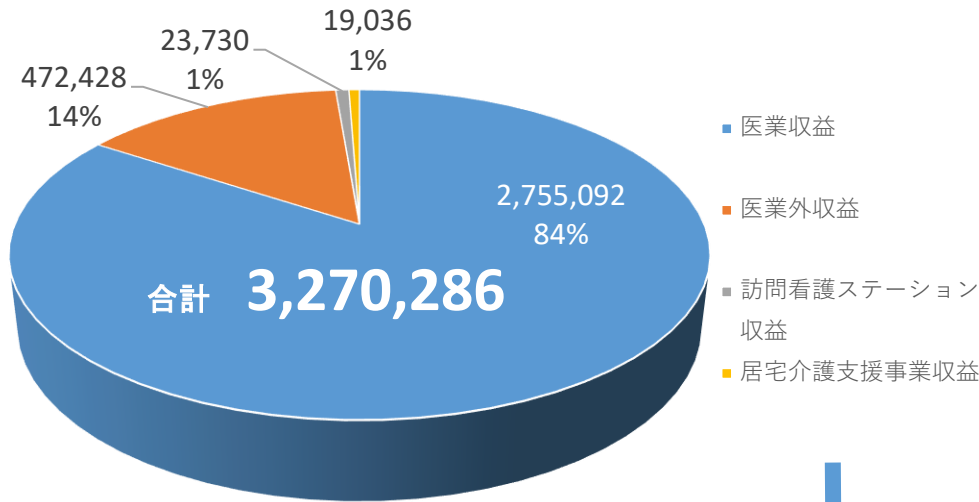
■令和8年度予算の概要

# 令和8年度予算の概要

## 1. 経常収支

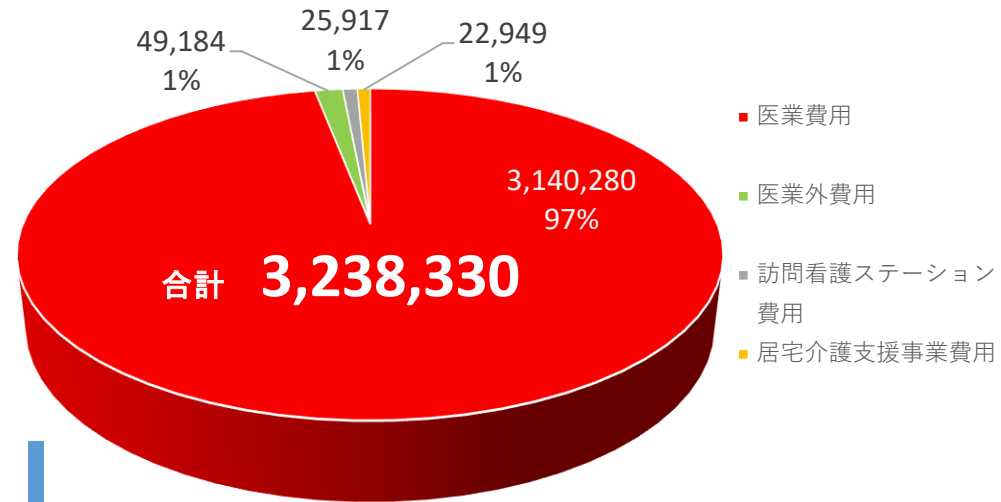
病院事業収益

(単位:千円)



病院事業費用

(単位:千円)



**31,956千円の黒字予算**

収益

前年度比較 **109,793千円の増 (+3.5%)**

令和7年度当初予算額	3,160,493千円
令和7年度決算見込み額	2,952,129千円

費用

前年度比較 **98,965千円の増 (+3.2%)**

令和7年度当初予算額	3,139,365千円
令和7年度決算見込み額	3,036,565千円

# 令和8年度予算の概要

## 2. 収益的収入及び支出

(単位:千円、%)

区 分	令和8年度 ①	令和7年度 ②	差 ①-②	増減率
1 病院事業収益	3,270,286	3,160,493	109,793	3.5
(1) 医業収益	2,755,092	2,688,225	66,867	2.5
入院収益	1,676,113	1,596,422	79,691	5.0
外来収益	696,820	704,962	△ 8,142	△ 1.2
その他医業収益	382,159	386,841	△ 4,682	△ 1.2
(2) 医業外収益	472,428	424,744	47,684	11.2
他会計補助金・負担金	255,342	258,891	△ 3,549	△ 1.4
補助金	2,025	2,005	20	1.0
その他	215,061	163,848	51,213	31.3
(3) 訪問看護ステーション収益	23,730	27,054	△ 3,324	△ 12.3
(4) 居宅介護支援事業収益	19,036	20,469	△ 1,433	△ 7.0
(5) 特別利益	0	1	△ 1	皆減
2 病院事業費用	3,238,330	3,139,365	98,965	3.2
(1) 医業費用	3,140,280	3,038,057	102,223	3.4
給与費	1,948,616	1,876,641	71,975	3.8
材料費	324,897	353,917	△ 29,020	△ 8.2
経費	620,562	585,414	35,148	6.0
その他	246,205	222,085	24,120	10.9
(2) 医業外費用	49,184	47,167	2,017	4.3
(3) 訪問看護ステーション費用	25,917	28,369	△ 2,452	△ 8.6
(4) 居宅介護支援事業費用	22,949	21,572	1,377	6.4
(5) 特別損失	0	4,200	△ 4,200	皆減
損 益	31,956	21,128	10,828	33.9

- ①  
・入院患者数及び診療単価の増に伴う増収  
・外来診療日数及び診療単価の減に伴う減収
- ②  
医師確保対策及び児童手当に要する経費の減
- ③  
長期前受戻入収益(企業債元金償還金戻入)の増
- ①  
令和7年度制度改正(大幅なプラス改定)に伴う給与費の増
- ②  
・薬価、材料単価の減  
・修繕費、委託料等の増  
・減価償却費の増
- ③  
消費税に係る修正損の皆減(令和4、5年度分)

# 令和8年度予算の概要

## 3. 資本的収入及び支出

(単位:千円、%)

区 分	令和8年度 ①	令和7年度 ②	差 ①-②	増減率
1 病院事業資本的収入	223,985	368,524	△ 144,539	△ 39.2
(1) 企業債	125,600	306,400	① △ 180,800	△ 59.0
(2) 出資金	89,835	59,374	② 30,461	51.3
(3) 補助金	5,750	2,750	③ 3,000	109.1
(4) 医師等修学資金貸付金返還金	2,800	0	2,800	皆増
2 病院事業資本的支出	308,803	421,395	△ 112,592	△ 26.7
(1) 建設改良費	172,976	355,353	① △ 182,377	△ 51.3
(2) 企業債償還金	132,467	62,442	② 70,025	112.1
(3) 貸付金	3,360	3,600	③ △ 240	△ 6.7
差 引	<b>△ 84,818</b>	<b>△ 52,871</b>	<b>△ 31,947</b>	△ 60.4

①  
R7: MRI装置更新等 4件  
R8: 病棟ナースコール設備更新事業等 6件

②  
企業債償還金の増による

③  
青森県病床機能分化・連携推進施設整備費補助金による増

①  
病棟ナースコール設備更新、温冷配膳車更新等

②  
企業債償還開始(6件)による増

③  
医師等修学資金  
R7: 医師1名、看護師1名  
R8: 医師1名、診療放射線技師1名

# 令和8年度予算の概要

## 4. 構成町村負担金等比較表

項目	R8当初	R7当初	比較	%	主な増減理由
1 病院事業	599,989	567,800	32,189	5.7	
1 病院事業収益的収入	510,154	508,426	1,728	0.3	
医業負担金	254,715	249,518	5,197	2.1	
① 救急医療運営費	208,698	198,881	9,817	4.9	給与改定等による人件費の増
② 保健衛生行政事務経費	46,017	50,637	△ 4,620	△ 9.1	地域医療連携室職員の人件費の減(R7:8名 → R8:7名)
医業外補助金	96,703	113,548	△ 16,845	△ 14.8	
③ 研究研修費	4,343	4,529	△ 186	△ 4.1	研修費(認定看護師教育課程受講)の減
④ 基礎年金に係る公的負担	50,224	46,833	3,391	7.2	標準報酬月額増、公的負担金率の増(R7:39.6% → R8:41.5%)
⑤ 追加費用	9,096	9,790	△ 694	△ 7.1	追加費用率の減(R7:11.1% → R8:10.1%)
⑥ 児童手当	16,896	19,493	△ 2,597	△ 13.3	給付対象児童の減
⑦ 医師確保対策	16,144	32,903	△ 16,759	△ 50.9	後期研修医の人件費の減(△16,636千円)
医業外負担金	158,736	145,360	13,376	9.2	
⑧ 企業債利子償還	4,138	1,315	2,823	214.7	企業債利子償還金の増(R7借入分)
⑨ へき地巡回診療負担金	453	404	49	12.1	へき地巡回診療に係る事業費の増
⑩ 高度特殊医療運営費	5,772	6,531	△ 759	△ 11.6	脳神経外科に係る支出の減に伴う減
⑪ 不採算地区中核病院運営経費	148,373	137,110	11,263	8.2	リハビリ診療に係る収支の減に伴う増 (R7:△10,517千円 → R8:△27,133千円)
2 病院事業資本的収入	89,835	59,374	30,461	51.3	
出資金					
⑫ 建設改良費	20,000	23,041	△ 3,041	△ 13.2	医療器械等整備費(30,000千円)、建物整備費(10,000千円)
⑬ 企業債元金償還	66,475	32,733	33,742	103.1	R6借入分の償還開始による増(電子カルテサーバー 他5件)
⑭ 医師等修学資金貸付金	3,360	3,600	△ 240	△ 6.7	医師:1人、医療技術員:1人 ※基準外繰入
合計	599,989	567,800	32,189	5.7	

# 令和8年度予算の概要

## 5. 令和8年度診療報酬改定の方向性

### (1) 厚生労働省が医療機関に求める4つのポイント

物価高騰と  
人材流出

①

賃上げ・物価対応

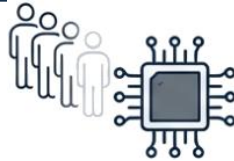


- 基本診療料の点数引上げ
- 物価対応料の新設
- 食事療養費・生活療養費の引上げ
- ベースアップ評価料の対象職種拡大

労働力不足

②

働き方改革・DX推進



- ICT利用による業務効率化
- タスクシェアリングの評価
- 人手不足時の届出条件緩和
- 様式9の見直し
- 常勤とみなす要件の見直し

不適切な医療  
報酬の見直し

③

安心安全な医療の推進



- 医療機能分化の見直し
- 各部門の算定要件の見直し
- 実績指標の評価
- 感染症対策の見直し
- 悪徳訪看ST業者への引締め

膨れ上がる  
社会保障費

④

皆保険制度の  
持続・安定性の向上



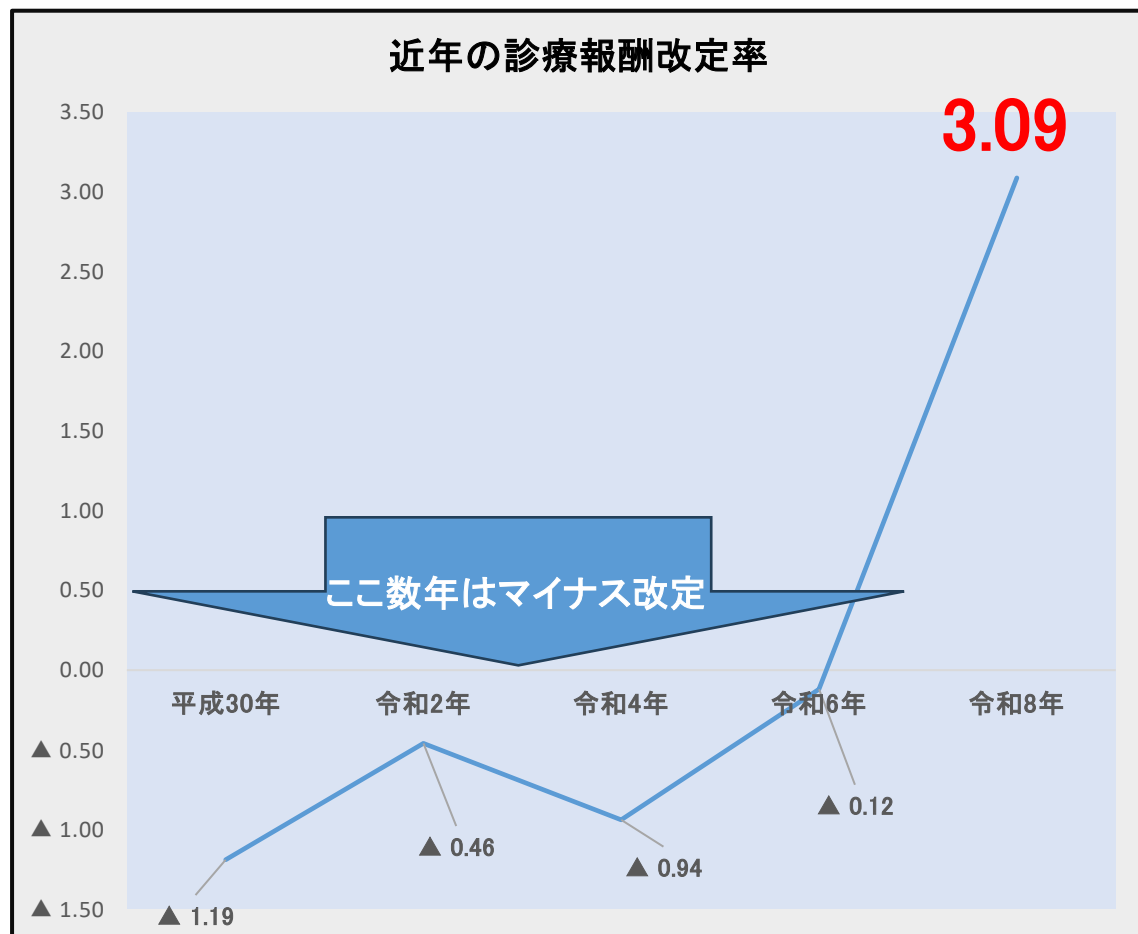
- 後発医薬品・バイオ後続品の推進
- 長期収載品の選定療養費の引上げ
- 長期処方・リフィル処方の活用

# 令和8年度予算の概要

## 5. 令和8年度診療報酬改定の方向性

### (2) 改定率について

今回の改定は、賃金上昇や物価高騰といった経済情勢を踏まえ **+3.09%** という近年の改定の中でも高い水準の引上げ幅



診療報酬改定率	+3.09%
① 賃上げ分	+1.70%
② 物価対応分	+0.76%
③ 食費・光熱水費分	+0.09%
④ 緊急対応分	+0.44%
⑤ 調剤等適正化分	▲0.15%
⑥ その他	+0.25%

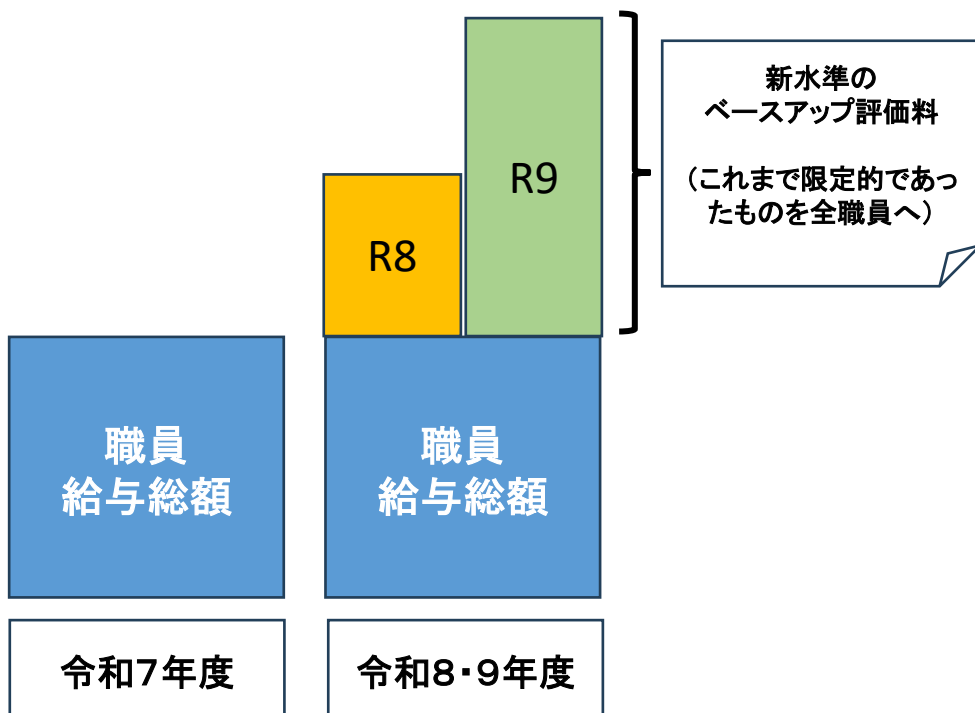
賃上げ分と物価対応分は、**令和8年度、令和9年度と段階的に引上げ**

# 令和8年度予算の概要

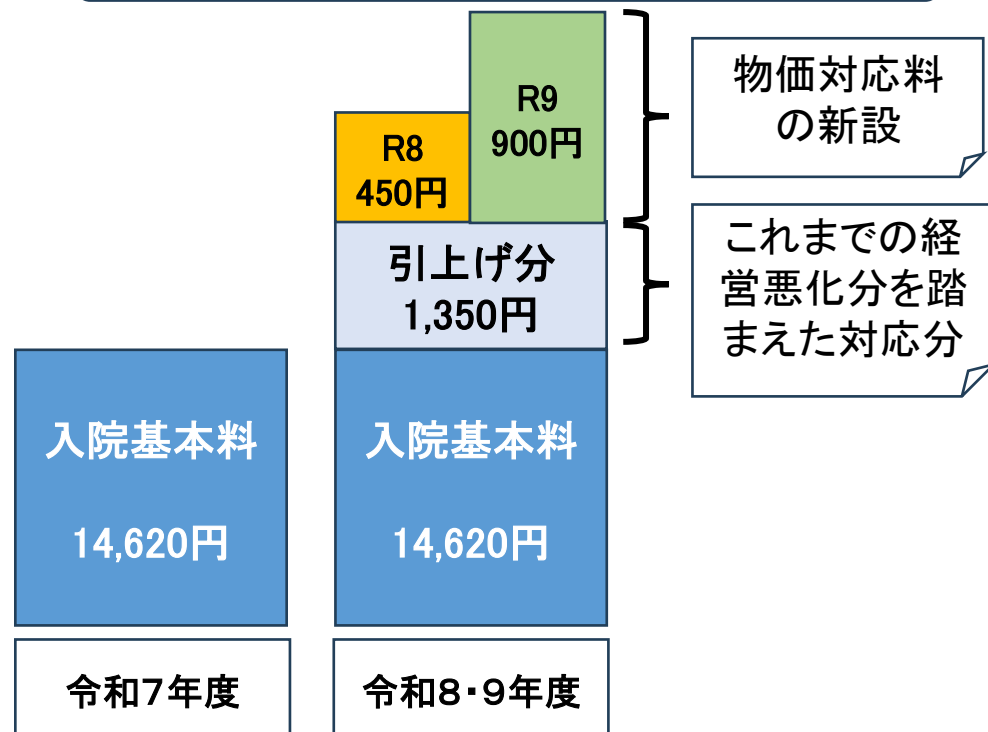
## 5. 令和8年度診療報酬改定の方向性

### (3) 賃上げ・物価対応に係る診療報酬改定イメージ

#### 賃上げ対応



#### 物価対応



	R7年度	R8年度	R8-R7	R9年度	R9-R7
	入院基本料	14,620円	16,420円	1,800円	16,870円

# 令和8年度予算の概要

## 5. 令和8年度診療報酬改定の方向性

### (4) 医業収益への影響について

#### ① 入院収益について(当初予算ベース)

	1日平均患者数	延患者数	診療単価	入院収益
R7年度	120人	43,800人	36,448円	1,596,422千円
R8年度	124人	45,260人	37,033円	1,676,113千円
増減	4人	1,460人	585円	79,691千円

約80,000千円の増収

#### ◎ 入院基本料の具体的な引上げ内容

	R8年度①	R6年度②	①-② = ③	物価対応料④	増収単価⑤=③+④	増収額
急性期入院料4	1,597点	1,462点	135点	45点(90点)	1,800円	30,254千円
地域包括ケア病棟入院料1 (南2階病棟)	2,955点	2,838点	117点	27点(54点)	1,440円	19,963千円
	2,807点	2,690点	117点	26点(52点)	1,430円	3,499千円
療養病棟入院料1	2,014点	1,949点	65点	18点(36点)	830円	6,829千円
計						60,545千円

※物価対応料④の( )は令和9年度引上げ分 ⇒ 令和8年度の2倍

# 令和8年度予算の概要

## 5. 令和8年度診療報酬改定の方向性

### (4) 医業収益への影響について

② 外来収益について(当初予算ベース)

	1日平均患者数	延患者数	診療単価	外来収益
R7年度	310人	75,020人	9,397円	704,962千円
R8年度	310人	74,710人	9,327円	696,820千円
増減	一人	▲310人	▲70円	▲8,142千円

診療報酬は、以下の  
ように上げられる  
が薬価の減が大きい

◎ 外来基本料の具体的な引上げ内容

	現行	令和8年6月			令和9年6月		
	ベースアップ評価料	物価対応料	ベースアップ評価料	計	物価対応料	ベースアップ評価料	計
初診時	6点	2点	17点	19点	4点	34点	38点
再診時	2点	2点	4点	6点	4点	8点	12点
訪問診療時	7点	3点	19点	22点	6点	38点	44点

# 令和8年度予算の概要

## 6. 医業費用について

### (1) 給与費の基礎となる職員数の比較

		R8	R7	R8-R7	減員の職種
職員数	正職員 (再任用職員含む)	169	173	▲4	下記、内訳参照
	会計年度	110	101	9	正職員の減員分を会計年度任用職員
	計	279	274	5	

※正職員の内訳

	R8	R7	R8-R7	内容
医師	8	9	▲1	・ 外科医師の減
医療技術員	32	35	▲3	・ 臨床工学技士1人、管理栄養士1人、作業療法士1人 計3人減
看護師	97	98	▲1	・ 准看護師(再任用職員)1人減
事務等	32	31	+1	・ 欠員分
合計	169	173	▲4	

# 令和8年度予算の概要

## 6. 医業費用について

### (2) 令和8年度 医師の配置について

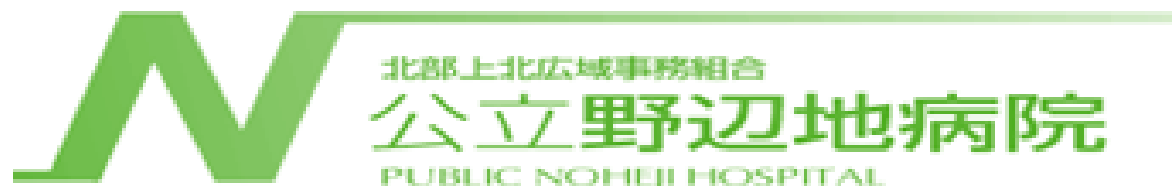
	常勤医師数				非常勤医師	合計	医師充足率	歯科口腔外科
	内科	外科	整形外科	計				
R7年度10月以降	4人	1人	2人	7人	約4.7人	約11.7人	92.4%	1人



### 令和8年度 配置予定

- 修学資金貸与医師1名が内科に勤務予定(現在、十和田市立中央病院で専攻医)
- 4～9月ではあるが、総合診療専攻医が1名配置される予定

		常勤医師数				非常勤医師	合計	医師充足率	歯科口腔外科
		内科	外科	整形外科	計				
R8年度	4～9月	5人	1人	2人	8人	約4.7人	約12.7人	100%を超える予定	1人
	10月～3月	4人	1人	2人	7人	約4.7人	約11.7人	100%ギリギリ	



北部上北広域事務組合

公立野辺地病院

PUBLIC NOHEJI HOSPITAL